

【取り組みへの評価】

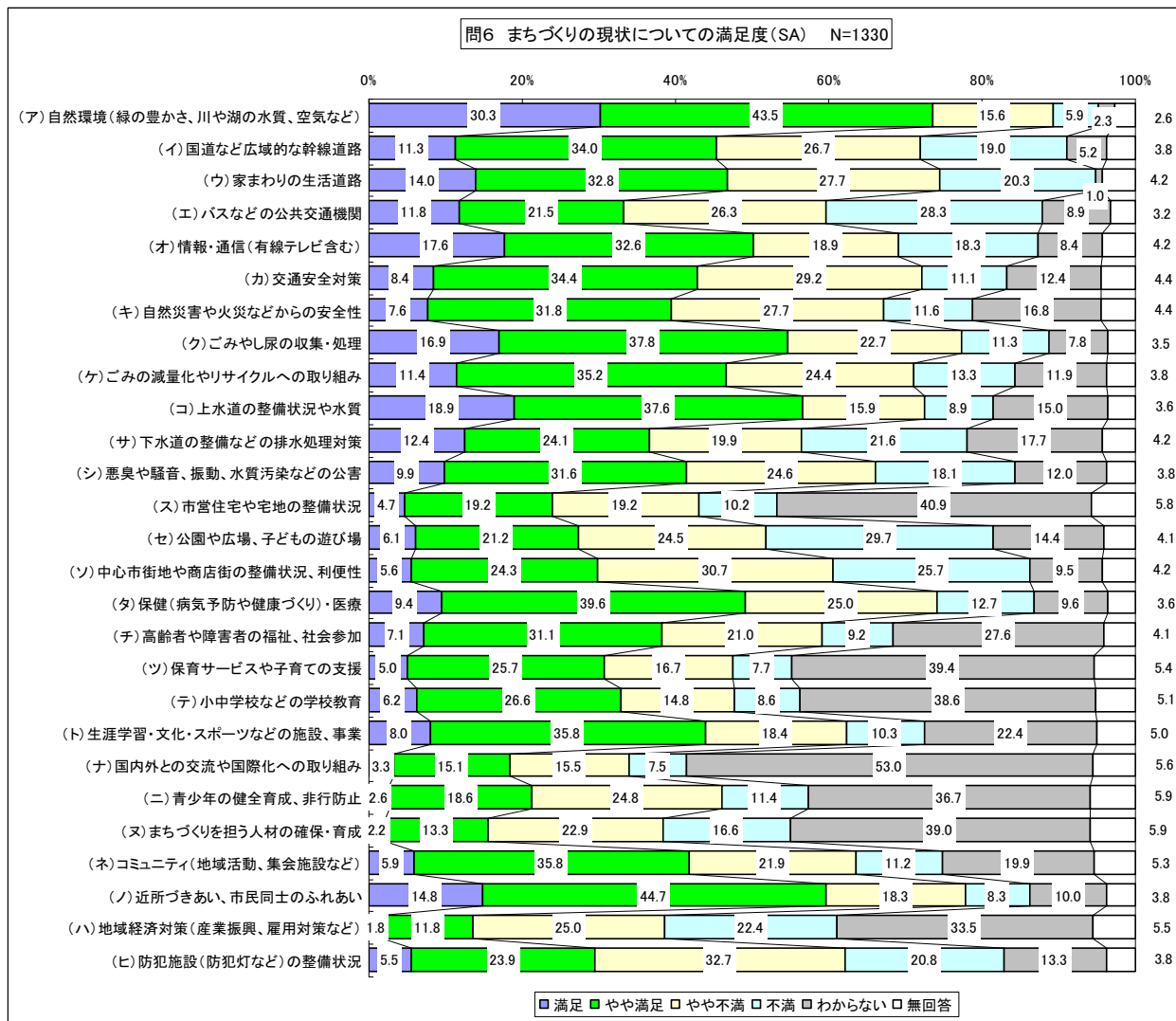
問6 施策の満足度

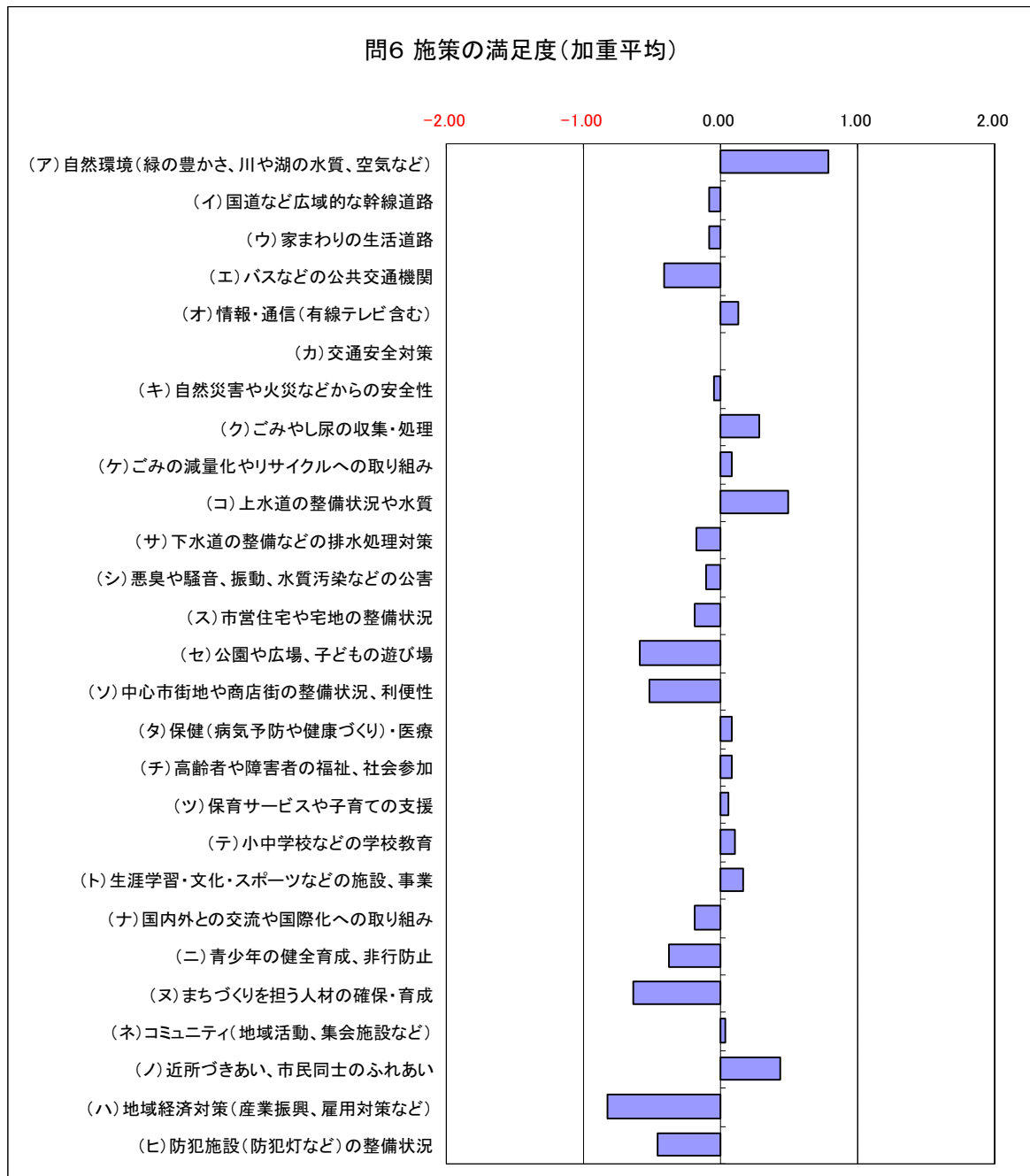
あなたは、まちづくりの現状についてどの程度満足していますか。次の（ア）から（ヒ）の各項目について、「満足」から「不満」までの5つの選択肢から、それぞれ1つずつ選んで、

○ 満足の高い施策分野は“自然環境”や“水環境”、“ふれあい”、一方、満足度の低い施策は“活力（にぎわい）づくり”や“子育て”などです。

満足度が高い施策は、高い順に「自然環境（保全）」や「上水道の整備状況や水質」、「近所づきあい、市民同士のふれあい」などで、“自然環境”や“水環境”、“ふれあい”に関する項目となっています。

一方、満足度が低い施策は、低い順に「地域経済対策」や「まちづくりを担う人材の確保・育成」、「公園や広場、子どもの遊び場」、「中心市街地や商店街の整備状況、利便性」などで、“活力（にぎわい）”や“子育て”に関する項目となっています。





・「加重平均」とは、「満足」から「不満」までの回答者数に、+2～-2までの数をかけて、回答者数(無回答除く)で割った数値です。全員が「満足」であれば、「+2」、反対に全員が「不満」であれば「-1」になります。なお、「無回答」が多いと、結果を見誤る恐れがありますので、全体の集計結果とあわせてみる必要があります。

＜年齢別＞

ベスト3（網掛部分で下線）とワースト3（網掛部分）をみると、「(ア) 自然環境」と「(コ) 上水道の整備状況や水質」や「近所づきあい、市民同士のふれあい」は、すべての年齢階層でプラス評価の高い施策分野となっています。特に、「(ア) 自然環境」は、いずれの年齢階層でも1.0前後の評価で、第1位を占めています。

一方、「(ハ) 地域経済対策（産業・雇用対策など）」や「(セ) 公園や広場、子どもの遊び場」、「(ム) まちづくりを担う人材の確保、育成」はマイナス評価で、ほとんどの年齢層においてワースト3の中に位置付けられています。特に、「(ハ) 地域経済対策（産業・雇用対策など）」は-1.0前後とマイナス評価が目立ち、厳しい経済環境を背景に、市民の評価も厳しくなっていることがうかがえます。なお、全般的に、“30～40歳代”ではマイナス評価が目立つのに対し、年齢階層が高まるにつれて、プラス側にシフトする傾向がみられます。

	30歳未満 (N=142)	30歳代 (N=177)	40歳代 (N=217)	50歳代 (N=298)	60歳代 (N=290)	70歳以上 (N=189)
(ア) 自然環境	<u>1.1</u>	<u>0.8</u>	<u>0.8</u>	<u>0.7</u>	<u>0.7</u>	<u>1.0</u>
(イ) 幹線道路	-0.1	0.0	-0.2	-0.2	-0.0	0.0
(ウ) 生活道路	-0.2	-0.2	-0.2	-0.3	0.1	0.3
(エ) 公共交通機関	-0.8	-0.6	-0.7	-0.4	-0.1	-0.1
(オ) 情報・通信	-0.2	-0.1	-0.1	0.1	0.3	0.7
(カ) 交通安全対策	0.0	-0.3	-0.1	-0.0	0.1	0.2
(キ) 災害からの安全性	-0.1	-0.2	-0.0	-0.1	-0.0	0.2
(ク) ごみ等収集・処理	<u>0.5</u>	-0.1	-0.1	0.1	<u>0.6</u>	<u>0.8</u>
(ケ) ごみの減量化・リサイクル	0.2	-0.1	-0.0	-0.0	0.2	0.4
(コ) 上水道の整備	<u>0.6</u>	<u>0.2</u>	<u>0.5</u>	<u>0.3</u>	<u>0.7</u>	<u>0.8</u>
(サ) 下水道整備	-0.1	-0.5	-0.3	-0.3	-0.1	0.3
(シ) 公害	0.1	-0.2	-0.0	-0.1	-0.3	0.1
(ス) 市営住宅や宅地の整備	-0.0	-0.2	-0.1	-0.4	-0.3	0.1
(セ) 公園や広場	-0.6	-1.1	-0.8	-0.6	-0.4	-0.1
(ソ) 市街地や商店街の整備	-0.9	-0.7	-0.6	-0.5	-0.4	-0.2
(タ) 保健・医療	0.3	-0.2	-0.2	0.0	0.2	0.4
(チ) 高齢者や障害者の福祉	0.3	0.1	-0.1	-0.1	0.1	0.4
(ツ) 子育ての支援	-0.0	-0.0	-0.1	-0.0	0.1	0.6
(テ) 学校教育	0.1	-0.2	-0.1	0.1	0.2	0.6
(ト) 生涯学習・スポーツ等の事業	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.5
(ナ) 国際化への取り組み	-0.4	-0.3	-0.2	-0.3	-0.1	0.0
(ニ) 青少年の健全育成	-0.5	-0.3	-0.3	-0.4	-0.3	-0.5
(ヌ) 人材の育成	-0.7	-0.7	-0.7	-0.9	-0.7	-0.4
(ネ) 地域活動、集会施設	0.2	<u>0.2</u>	-0.0	-0.1	0.0	0.3
(ノ) 市民同士のふれあい	<u>0.5</u>	<u>0.3</u>	<u>0.4</u>	<u>0.3</u>	0.5	0.8
(ハ) 地域経済対策	-0.8	-1.0	-0.9	-1.0	-0.9	-0.6
(ヒ) 防犯施設の整備	-0.6	-0.6	-0.7	-0.5	-0.4	0.1

※ベスト3（網掛部分で下線）とワースト3（網掛部分）

＜地域別＞

「(ア) 自然環境」と「(コ) 上水道の整備状況や水質」や「近所づきあい、市民同士のふれあい」は、いずれの地域でもプラス評価の高い施策分野となっています。一方、「(ハ) 地域経済対策(産業・雇用対策など)」は、すべての地域においてワースト3の中に位置付けられています。地域別では、「伊自良地域」では「(シ) 悪臭や騒音、振動、水質汚染などの公害」が目立つものの、他地域に比べてプラス評価が目立ちます。「美山地域」では全般的にマイナス評価が目立ち、なかでも地形的な特性から「(セ) 公園や広場、子どもの遊び場」や「(キ) 自然災害や火災などからの安全性」への評価が他地域より低くなっています。

なお、「(エ) バスなどの公共交通機関」や「(オ) 情報・通信」といった“交通・情報”インフラへの評価は、「高富地域」で他地域に比べてプラス側にシフトしています。

	高富地域 (N=769)	伊自良地域 (N=151)	美山地域 (N=384)
(ア) 自然環境	<u>0.7</u>	<u>1.1</u>	<u>1.0</u>
(イ) 幹線道路	-0.0	0.3	-0.3
(ウ) 生活道路	-0.1	0.4	-0.2
(エ) 公共交通機関	-0.2	-0.7	-0.8
(オ) 情報・通信	<u>0.4</u>	-0.4	-0.3
(カ) 交通安全対策	-0.0	0.3	-0.1
(キ) 災害からの安全性	-0.0	0.3	-0.2
(ク) ごみ等収集・処理	0.3	0.7	0.2
(ケ) ごみの減量化・リサイクル	-0.0	0.3	0.2
(コ) 上水道の整備	<u>0.5</u>	<u>1.1</u>	<u>0.3</u>
(サ) 下水道整備	-0.1	<u>1.1</u>	-0.8
(シ) 公害	-0.0	-0.7	0.0
(ス) 市営住宅や宅地の整備	-0.2	0.3	-0.4
(セ) 公園や広場	-0.5	0.0	-1.1
(ソ) 市街地や商店街の整備	-0.4	-0.4	-0.9
(タ) 保健・医療	0.2	0.2	-0.2
(チ) 高齢者や障害者の福祉	0.1	0.6	-0.2
(ツ) 子育ての支援	0.1	0.5	-0.1
(テ) 学校教育	0.2	0.2	-0.1
(ト) 生涯学習・スポーツ等の事業	<u>0.4</u>	0.7	-0.4
(ナ) 国際化への取り組み	-0.3	0.7	-0.5
(ニ) 青少年の健全育成	-0.3	-0.3	-0.6
(ヌ) 人材の育成	-0.6	-0.4	-1.0
(ネ) 地域活動、集会施設	0.0	0.6	-0.2
(ノ) 市民同士のふれあい	<u>0.4</u>	0.8	<u>0.5</u>
(ハ) 地域経済対策	-0.9	-0.6	-1.0
(ヒ) 防犯施設の整備	-0.4	-0.4	-0.7

※ベスト3（網掛部分で下線）とワースト3（網掛部分）